

令和6年度シラバス

教科	科目	単位数	履修学年・クラス
数学	数学A	2	2-1

1. 学習の到達目標

場合の数と確率、図形の性質、数学と人間の活動について学ぶ。
 場合の数と確率の様に、身近な事象において使われていることが多い単元であるので、社会において様々な形で数学が活かされている事を認識させ、その内容をしっかりと理解し、問題解決できる能力を養いたい。
 また、数学の問題を論理的に考えることで、日常においても論理的に考え、判断できる力を身につけ、人権問題における差別のない心を育てる。

2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数 1～2 集合の要素の個数～場合の数 第2節 順列・組合せ 1～3 順列～いろいろな順列 第3節 確率とその基本性質 1～3 事象と確率～期待値	<ul style="list-style-type: none"> 数学的な集合の概念の理解を図り、身近で応用されている事象に気づかせる。 順列・組合せの計算方法を理解する。また、実生活での例を挙げ親しみやすいように指導する。 確率の基本的な意味を理解する。
2 学 期	第4節 いろいろな確率 1～3 独立な試行～条件付き確率 第2章 図形の性質 第1節 三角形の性質 1～3 直線と角～チェバの定理とメネラウスの定理 第2節 円の性質 1～3 円周角～2つの円の位置関係	<ul style="list-style-type: none"> 文章問題を解くことにより、応用力を身につける。また、社会に目を向け、事象を論理的に考えることにより、人権問題に対する意識を高める。 中学校までの図形に関する基礎・基本の復習と高校数学への応用を理解する。
3 学 期	第3節 空間図形 1～2 平面と直線～多面体 第3章 数学と人間の活動 1～8 ユークリッドの互除法～マスの敷き詰め	<ul style="list-style-type: none"> 空間図形に関する基礎・基本の復習と高校数学への応用を理解する。 整数の性質を明確な定義のもと整理できるようにする。また、整数の問題に対して、基本的な概念や考え方を身につける。 数理的なパズルを取扱い、戦略を論理的に考える活動を通して数学的な思考力を身につける。

3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期考査・確認テスト・課題提出・授業に取り組む姿勢によって評価する。
------	------------------------------------

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価の内容	数学における基本的な概念、原理・法則、用語・記号などを理解し身に付ける。各単元における基本的な演算方法や定理を習得し、活用することができる。	事象を数学的に考察し、数学的知識・技能を応用して問題に取り組む姿勢や議論の方法を身につける。	数学の論理や体系に関心を持つとともに、数学的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用しようとする授業に取り組む姿勢を身につける。

4. 使用教科書・副教材

使用教科書	新編数学A (啓林館)
副教材	ステップアップノート数学A (啓林館)